

## アンケート調査の回答結果(総回答者数:169人)

あなたの年代を教えてください。

10代	1
20代	3
30代	17
40代	37
50代	26
60代	45
70代以上	40

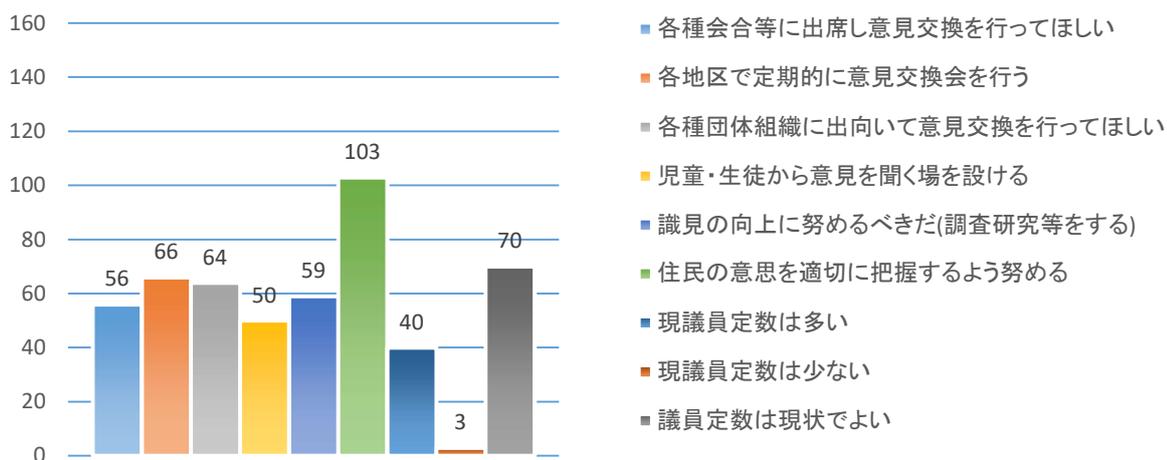
あなたの性別を教えてください。

女性	31
男性	62
無回答	76

議員との意見交換会の参加について

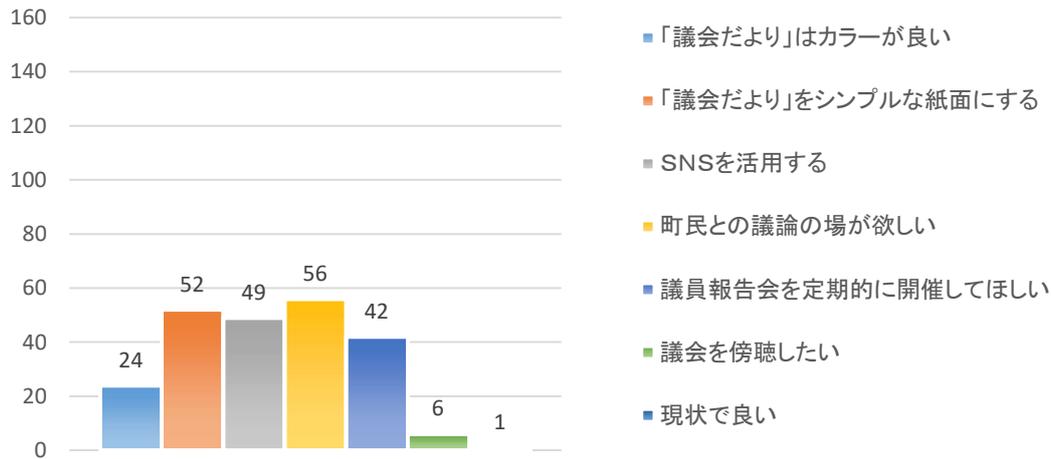
是非出席したい	22
都合が合えば出席する	90
出席しない	28
内容によります	1

### 1. 議員にもとめること



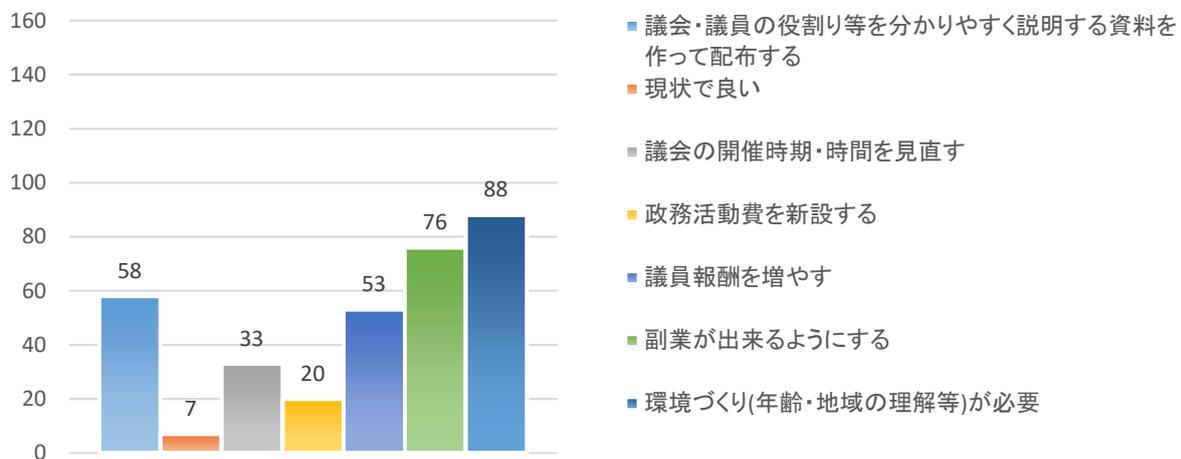
選択肢	回答者(人)
各種会合等に参加し意見交換を行ってほしい	56
各地区で定期的に意見交換会を行う	66
各種団体組織に出向いて意見交換を行ってほしい	64
児童・生徒から意見を聞く場を設ける	50
識見の向上に努めるべきだ(調査研究等をする)	59
住民の意思を適切に把握するよう努める	103
現議員定数は多い	40
現議員定数は少ない	3
議員定数は現状でよい	70

## 2. 広報・「議会だより」について



選択肢	回答者(人)
「議会だより」はカラーが良い	24
「議会だより」をシンプルな紙面にする	52
SNSを活用する	49
町民との議論の場が欲しい	56
議員報告会を定期的を開催してほしい	42
議会を傍聴したい	6
現状で良い	1

## 3. 女性・若者が議員に立候補するには



議会・議員の役割等を分かりやすく説明する資料を作って配布する	58
現状で良い	7
議会の開催時期・時間を見直す	33
政務活動費を新設する	20
議員報酬を増やす	53
副業が出来るようにする	76
環境づくり(年齢・地域の理解等)が必要	88

4. その他(議会全般にわたって伝えたいこと、普段感じている事があればご記入下さい。)

①議員の良いところ

・議会報告等で意見交換は出来ている。
・町のためにご尽力いただき感謝。
・年1回議員を招いて町政等直に話を聴くことで、議会を身近に感じている。
・奥出雲町のためにがんばって下さっている、感謝。
・現議員の向上心があり、気持ち伝わってくる政治に対し感謝。
・毎日議員が交通整理を実施し、住民目線であることが分かる、感謝。

②議員のダメなところ

・よく学習(調査)して質問を。
・質問・回答が通り一遍で、何が問題でどうするか深掘りが無い。
・住民の声をしっかり聞いてほしい。
・議員の活動が見えない、本気度が伝わらない
・議会のレベルアップを。
・町長及び町職員を問い直すだけでなく、代替案を持った質疑を。
・議員が威張っているように見受けられる時がある、改めるべき。
・議員によって地区への対応に温度差がある。
・もっと住民の話を聞くべき。
・議員活動が何をしているかわからない。
・具体的にどのような活動をしているか、自分はこうしたいとの考えが伝わってこない。
・議員の顔が見えない。きたんなく意見を言える場を。
・フランクに話せるといい。
・議会・議員は「地域の偉い人」「地位が高い人」のイメージ。
・批判ばかりで代案のないような議論ではなく、建設的な話し合いを。
・町の予算執行(奥出雲椎茸等)、議会はお目付役として役割をはたすべき。
・議員(議会)のあるべき姿とは何か、再度考えて頂きたい。
・議員は住民の声を聞くべき。
・やや町の立場(資金面など)に立った発言が多い。
・住民のため、地区のために支援する議会であるべき。
・住民目線で考えてほしい。
・町政等のイエスマンではいけない。
・正直何をしているかわからない。
・出身地区の課題についてもっともっと取り組んでいただきたい。
・(議員は)子供・若者ともっとコミュニケーションをとるべき。
・質問に対して答弁の検証ができていない、伝わってこない。
・大枠の質問が多く、実感がわかない、町民目線の質問を。
・議会活動や議会だよりを通して、より開かれた活動報告が必要。
・町長(町)と議員の関係、町執行部とタッグを組んでいるように見える。
・議会・議員が何をしようとしているのか、何をしているのか見えない。
・議会は行政に対して質問や要望のみ、自らが条例制定しようとしていない。
・自治会長や役員だけでなく、広い世代の声に耳を傾ける必要がある。
・議員は、「町民の声をきく」というが、実際の行動は伴っていない。

・具体的(町民の声を聴く)な行動をしてもらいたい。
・町民の代表としての活動ができていない議員は一人もいない。
・広く町民の声を聞く機会を自ら設けようとしていない。
・あの程度の仕事で報酬が貰えていることが不思議。
・議員がいつどこで何をしているのかわからない。
・町民のために汗をかいて駆け回る覚悟がない。
・議員にあまり存在感を認めない。もっと地域住民の声を町政へ
・町民のための議員が増えてほしい。

### ③議員に求める(期待する)こと

・町民の意見を聞く場を多く設けてほしい。
・一つの項目について、2人・3人同じ質問をしても良いのでは。
・議員を通じての提案や議案の修正などの議員の独自性を持つべき。
・特別職(三役)と討論する機会を設け、それぞれの立場での考え方が分かるように。
・教員と議員で教育の未来について共有できる意見交換の場を。
・一般質問等で重複しないよう議員間で調整を。
・少子高齢化の中、議員の果たす役割は大きい。
・人口減少は喫緊の課題で、全町民で考えていく体制を。
・議会と町民とのコミュニケーションを。
・地域活動に積極的な参加を(町民・地区民と一緒に汗を流してほしい)。
・各議員の活動を新聞折込チラシ・SNSなどで積極的な情報発信を。
・議会の組織的な活動で元気がでる取組を。
・議員自ら地域の行事に積極的に参加して中心的な役割を。
・質問が町民の思いと隔たりがあるので、意見交換や議会報告の実施を。
・それぞれの地域住民に合う地域づくりを提案され、実現していただきたい。
・地区で頑張っている人と連携し、行政でできない事や新たな施策の提言を。
・少子高齢化等危機的状況に対し、どう対応するか議会の大局的な視点を知りたい。
・他の地区でも町政を聴く会の開催を。
・自治会のおかれている諸問題・諸課題に積極的に関わってほしい。
・地区内で機関誌を発行し、やりたい事、思い、又やってきた事を伝えて欲しい。
・若い世代が住みやすい町づくりを考えて欲しい。
・今後の農業、若者の負担(時間・労力・後継等精神的負担等)の軽減を。
・一般住民に内容が分かるような議会に。
・町の未来、もっと若い人達の意見(10代・20代)を聞く事が必要。
・役場職員が地域の行事等、積極的、中心的になるよう取り図ってもらいたい。
・地域の歴史、実情や正確な情報を把握して施策に反映を。
・開かれた議会を進めてほしい。
・少子化対策や産業振興対策などの効果について調査すべき。
・議員は町民に近い存在(話しやすい)であると良い。
・町、議会、住民がそれぞれ建設的な議論をする機会を増やしてもらいたい。
・各種団体・組織の要望等について、(○か×・理由)納得できるよう対応を望む。
・議会というワードは固いイメージ。もっとSNS(LINE)(インスタ)で参加しやすく。
・議員活動について、考え方・実績・取り組み状況がわからないので定期的なPRを。

・学生にも議会・町のやっていることが伝わるように工夫すると良い。
・意見交換でなくても、様々な年代、様々な立場(学生・会社員等)の人と考える場を。
・女性・若者の議員へは、議会の魅力(お金ではない)が伝わる場をつくる。
・様々な年代のニーズに合うまちづくりができることがよい。
・現議員の活動で若者も変わる、選挙中の熱で仕事の姿を。
・議会の場の活動に加え、ふだんの活動を知りたい(PRを望む)。
・予算追及も必要だが、奥出雲町の行く道筋について執行部と議論してほしい。
・財政健全化に努めて欲しい。
・町職員、議員、また町民全体で、誇らしく思える奥出雲町にしてもらいたい。
・議員と町民(若者・女性等を含め)がお茶を飲みながら雑談できる場を定期的に。
・議員を身近に感じられるようなイベントがあると良い。
・議会をYouTubeで配信してほしい。

#### ④その他

・町総合計画は、全国版のアバウト。具体的な実施計画を示すように取り組むべき。
・部活動の地域移行を。
・部活動の地域移行を(ホッケーが町技というのであれば町全体として取り組むべき)。
・議員定数を減らし、報酬のみで生計を可能とすべき(350万円以上)。
・議会だよりの毎月発行を。
・各地区から1名の議員は必要。町外出身者(1ターン)の議員も。
・1人や2人女性が入っても変わらない
・減税してほしい
・子育て世代でもなりたいと思える魅力ある職業に。
・現議員定数を少なくし、議員報酬で生活できるように。
・(議員報酬を増やし)議員活動をより活発化に結びつけるようにする。
・議員が元気なら町民も元気になる。
・誰でも立候補できる環境を。
・選挙に費用がかからない対策を。
・若い人でも生活に支障がない議員活動量で全うできる仕組みを。
・議員定数を減らし議員報酬を増やせば女性・若者が立候補するのでは。
・若者の意志が反映されれば、住みやすい町になると思う。
・開かれた議会を目指すために議会及び各委員会の放映継続を。
・若者の意見を反映するために副業が出来る体制(副業先で意見を聞く)を。
・高齢者に対しての実情をもっと把握し、助成等の支援を。
・若い人が議員になるために、議員の定年制を。
・智頭町の百人委員会のようなものがあれば良い。
・女性の議会への参加は、〇年までに〇%にするという目標数値が必要。
・議会だよりで各委員会の活動等具体的に伝えていただきたい。
・女性・若者の参加(議員)は、子ども2人くらい養える議員報酬を増やす。
・選挙にかかる費用と時間を削減するために立会演説会の導入を。
・アンケートも、話し合いをした後にした方がより良いと思う。
・地域の要望について、誰が関わり、どう取り組んでいるか見えない。
・要望から結論までの経過等が分かるように。

・議会だよりの文字の大きさ・見やすさを改善すれば様々な世代が見る。
・議員定数は今のままでもよい。
・報酬や定数の増減が、町民の喜びに繋がれば良い。
・必ずしも若者・女性議員が有益ではなく、町を熟知した人になるべき。
・各回議会について、議会だよりを毎回発行し、決定事項を公表してほしい。
・町で働く処があれば若い人は定着する。
・仁多米産出額だけで人口増加は望めない、企業誘致を。
・類似地域(気候等)で工場や産物で1人当りの所得が多い、奥出雲町も可能では。
・今後の超高齢化社会に対応(人材確保)するために介護職の給料改善を。
・人口に比例する議員数について、現在の定数は多い。
・定数を減らし、議員の報酬を増やして若い方の魅力を引くようにする。
・医療や福祉の予算充実を願う。
・町外との関わりをもっと持つべき
・議会だよりをもっとオシャレに、読みやすく、プライベートコラムがあると良い。
・SNSでの広報の周知がもっとあってもいいのではないか。
・意見交換会は土日開催も含めた、多岐の時間帯の開催を希望。
・議員定数を10人以下に減らし、一人あたりの報酬を増やして現役世代を議員に。
・インターネット環境が悪く、若者や企業を呼び込めない。
・アンケートを実施して有権者の時間や金を使ったなら具体的な返答を。
・先進地の視察等、議員や町だけでなく、該当業者も交えて行い、検討すべき。
・SDGs活動、特にごみやリサイクルの活動について、学習できる機会を。